

## 「笑顔のあいさつ日本一」

中津市長 奥塚 正典

今年も4月に新採用職員が入ってきました。初日の訓示、「市役所の仕事は市民サービスの提供であり、仕事の基本はあいさつだ」と申しあげました。

二か月経たないうちに新採用職員から嬉しい反応が返ってきました。「笑顔のあいさつ日本一」を目指そうというのです。そこで彼らと昼食をとりながら決意のほどを尋ねました。「仕事ではすぐに役に立てないので、今自分たちができること、あいさつを励行しよう」と皆で話し合っただけで決めたらしいのです。時間外に集まって手書きのポスターをつくり職場に貼っています。どんなあいさつをしているかもその場で実演してもらいました。

手探り中の新採用職員が投げたボール、今度は我々上司や先輩が受けとめ返球する番です。「日本一とは大きく出たな」と新人たちへの反応は様々ですが、先輩たちもあいさつ運動チーム『にこいち（にこ＝笑顔、いち＝日本一）』に加わっているようです。

10年ほど前、私がある市に赴任した時のこと。徒歩での通勤途中、小中学生はもちろん男女高校生までもがよくあいさつをするのに感動しました。もちろんしない人もいます。そこで逆にこちらから声かけを試みることにしました。すると相手も先にあいさつするようになります。「すればされる、されればする」という好循環をうみだす言葉と気持ちのキャッチボールがあいさつです。照れくさいとか、何を今さらとか、はたまた相手がするのが先だとか思わずに自ら一歩踏み出していくことが大事です。



一年前、本コラムは『皆さんこんにちは』で始まり、「まずはあいさつ、"長、より始める」と申しました。職員は市民の皆さんと様々な分野で接し仕事をしなければなりません。今回の職員発意の行動は大歓迎です。さあ、中津市役所の「笑顔のあいさつ日本一」、乞うご期待。